

## 協働評価シート

事業名		商店街はまちづくりのパートナー事業	実施年度	平成24年度
部 局		経済部	課 所	商工労政課
団体等の名称		NPO法人にいはま市民企画ノポック		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事业展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	A
			市	A
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

団体等	<p>市との協働により、商店街連盟を窓口として各店舗との話し合いがより円滑に進んだ。</p> <p>その結果、取材先から感謝される製品を完成させることができ、商業者の方に、立場は違っても、目標を共有する市民団体など多組織との協働が、商店街の活性化という目的に結びつくことを感じていただくことができた。</p>
市	<p>イベントや各種事業を通じた商店街との連携実績をもち、また広報番組制作技術も備えたNPO法人との協働によって、営業PRに偏らず、まちづくりの一員としての商店街紹介が可能になった。</p> <p>また、法人スタッフの消費者目線での取材が、店主側から普段お客様と話すような生き生きとおしゃべりを引き出し、CATV番組にふさわしい親しみのもてる製品に仕上がった。</p>
相互協議 結 果	<p>行政・市民団体・事業者がそれぞれの特技や特性を発揮して、商店街の魅力を消費者である市民に紹介しながら店主の専門知識を生活に役立ててもらおうという第三者へのサービス提供を行う「協働」の良いモデルケースとなった。</p>

